



【特集】

横綱級ケースに遭遇！ 私ならこうアセスメントし、 こう介入する

【この特集は……】 purpose of this article

「横綱級ケース」と聞いて、読者の皆さんはどのようなケースを頭に描くだろうか。

本特集で横綱級と言っているのは重症度のことでなく、対人関係的な意味である。

支援者を困らせる、手を焼かせる、話が通じない感がある、焦らせる、圧迫感がある、要求が強い、要求がわかりにくい、支援者が恐怖や怒り、嫌悪を感じる、何を支援しているのかわからなくなってくる、達成感がないなど、コントロール不能な感覚に陥るケースのことである。

特に訪問看護という、利用者の家に“おじゃまする”形の展開では、横綱級ケースにかかわる訪問看護師のプレッシャーは大きい。

そこでこの特集では、実例をもとに、そうしたケースをどうアセスメントし、介入できるのかを解説いただくことにした。